

<表現・コミュニケーション学科に併設>



学校に通っていない
中学生のまなび庭

ジェイビーラスは、フリースクールではなく、学習の仕方を学び、コミュニケーションを大切にする場所。不登校の中学生を対象とした週4日(週1日から登校スタイルを選べます)で学習、コミュニケーションをまなぶ庭(ぼ)です。中学に在籍しながら通えます。



TEL.06-6459-1771

https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/j_ivy/

YMCA
総合教育センター

子育てと子どもの発達の悩みに
丁寧に寄り添い支援を考えます

【活動内容】
相談対象... 幼児から18歳未満の児童生徒とその保護者・教員の方々

①相談(カウンセリング・発達相談)

カウンセリング(子育て、不登校などに関する悩み)
•子育て、進路について悩んでいる •不登校で困っている
•いじめ、対人・交友関係で悩んでいる
•情緒不安定などころが気になる •親子関係で悩んでいる など

発達相談(発達のつまずきに関する悩み)

•勉強についていくい •集中力がない、落ち着きがない
•コミュニケーションが苦手 •集団行動が苦手
•友達とのトラブルが多い など

②セミナー

発達障がい支援セミナー・自立支援セミナー など

③巡回相談・研修

TEL.06-6441-0988

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/counseling/>

2019年に大阪市が開校した公設民営の中高一貫校「水都国際中学・高校」(国際バカロレアコース)は大阪YMCAが運営しています。

学校法人大阪YMCA 大阪YMCA国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6 4F

TEL.06-6441-1123



FAX.06-6443-7544

<https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/>

- ・大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅下車3号出口から西へ徒歩約5分
- ・大阪メトロ御堂筋線・京阪線「淀屋橋」駅下車4号出口から西へ徒歩約10分
- ・JR東西線「新福島」駅下車徒歩約15分
- ・JR環状線・阪神「福島」駅下車徒歩約15分
- ・JR大阪駅下車徒歩約20分
- ・大阪駅前より市バス75系統なんば行き、88系統天保山行き「土佐堀1丁目」前下車すぐ
- ・京阪中之島線「中之島」駅下車6番出口から徒歩10分
- ・京阪中之島線「渡辺橋」駅下車7番出口から徒歩7分



学校法人 大阪YMCA

大阪YMCA 国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科 (全日制)

表 コ ミ

安心できる環境と関係性で、人は変わる。



大阪YMCA

表コミって？

表現・コミュニケーション学科(表コミ)は、コミュニケーション・通学・学習に不安を感じている生徒が在籍しています。表コミに入学した当初、過去の経験から多くの生徒は自己肯定感が低く、“長所は？”と尋ねられても「ありません」「分かりません」と答えます。しかし、どの生徒にも可能性は無限にあります。その可能性を少しでも多く見つけられる場所が、“表コミ”です。表コミでは、生徒一人ひとりが主人公になれるものが何かを探します。そして4つの柱をもとに生徒に関わるすべての大人が支え、共に表コミストーリーを作ります。

表コミの教育理念

キリスト教主義教育を基盤として
精神、知性、身体、社会性の均整のとれた成長を育む

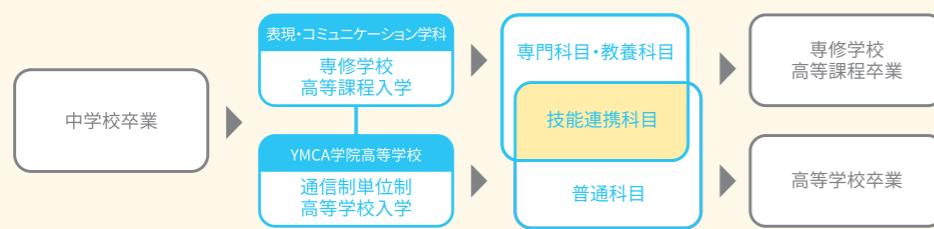
表コミの教育方針

1. 神様から与えられたすべての命を大切にする
2. すこやかな心とからだを育む
3. 違いを認め合って共に生きる
4. 豊かな学びと生きる力を培う
5. 未来に向けて歩みを確かなものにする

学科のシステム

技能連携校とは

技能連携制度とは、通信制高校と連携するシステムです。表現・コミュニケーション学科の生徒は、YMCA学院高等学校に在籍することもできます。その場合は、表コミで授業を受け単位を取得すると、「専修学校卒業」と「高等学校卒業」の資格が同時に取得できます。



YMCA学院高等学校在籍のメリット

YMCA学院高等学校の進路指導データや大学の指定校制度などの活用ができます。

表コミの授業でYMCA学院高等学校の単位取得

授業は月曜日から金曜日まで毎日行います。専修学校の自由で多様なカリキュラムに加え、YMCA学院高等学校の科目も通常授業の中で行います。

表コミには安心できる環境があります

表コミは、人が生きていくうえで必要となる人と関わる力を身につけ、じぶんのことを好きになる、自信をつけることを目標とします。安心できる環境の中で、安心できる関係性があれば人は必ず変わります。生徒は学びのおもしろさ、人とつながる楽しさを感じ、変わっていくじぶん、新しいじぶんを発見します。



YMCAは、1844年、ロンドンで誕生しました。YMCAの赤三角マークは、心(Spirit)、知性(Mind)、体(Body)の調和を表し、生涯を通して、全人的に成長することを願うものです。YMCAのマークとして、広く世界中に知られています。青少年はもとより、あらゆる年代、性別、宗派の人びとがかかわっている119の国と地域にひろがる国際団体です。

生徒の安心

安心できる環境と関係性で
人は変わる!

「表コミは安心できる」「今までの学校と違う」と感じた時から、生徒は変わっていきます。失敗しても決して笑われない、安心して自分を出せる環境・関係性こそが生徒の可能性を大きく伸ばします。

- ◆いじめ・中傷はゆるしません
- ◆ボランティアが支える授業
- ◆生徒支援のプロが常駐
- ◆複数担任制、学校全体で生徒を支援
- ◆一方的な指導ではない、丁寧な聞き取り



学びの 拡がり

「分かった」と感じた時こそ、
自主的な学びの始まり。

自分のために学習していく意欲を高める授業を行っています。自分の学力を知り、集団の中でも自分に合った学びを積み上げていきます。生徒の学習進捗度にも注目し、今何を学べば効果的かを的確に判断し指導していきます。その結果、多くの生徒が大学・短大・専門学校に進学しています。

- ◆自分のペースで学ぶ少人数制・習熟度別クラス
- ◆数学は自分で学ぶ個別の「らくだ教材」
- ◆原則10時スタートの時間割
- ◆平和学習や乳幼児との触れ合いなど、様々な生命(いのち)のプログラム



主人公＝生徒

人との かかわり

さまざまな人とコミュニケーションを
とることで大きく成長していきます。

人との会話が苦手な生徒が、次第にコミュニケーションを取ることが出来るようになります。人や自分を大切にするようになります。自分の成長を実感できるのが表コミです。表コミでは、体験学習や学校行事を通じ、コミュニケーション能力や社会性の向上、生きる力を養います。

- ◆自分を認め、他者を認める仲間づくり
- ◆人間関係トレーニング、コミュニケーション
- ◆演劇
- ◆SST(ソーシャルスキルトレーニング)
- ◆マナー・ライフスキル



自立への 歩み

自分に自信を持つことから
自立が始まります！

表コミに入学した当初は自己肯定感が低かった生徒たちも、安心できる環境と関係性で自信を回復し、心が安定すると、将来の夢を語り始めます。そのための進路を自ら考え、自分で進路を決めることを表コミは応援しています。

- ◆「産業社会と人間」をはじめとした社会を知る授業
- ◆進学自習ルームなどで「自分で」学習する力を養う
- ◆自ら考え、調べ、発表するプレゼンテーション大会
- ◆進学を含む多様な卒業後の進路



生徒の安心

安心できる環境と 関係性で人は変わる！

「表コミは安心できる」「今までの学校と違う」と感じた時から、生徒は変わっていきます。

失敗しても決して笑われない、安心して自分を出せる環境・関係性こそが生徒の可能性を大きく伸ばします。



いじめ・中傷はゆるしません

どこからかがいじめか線引きをすることは難しいですが、表コミでは“相手・自分が嫌だと感じたこと”に対して、大人が一緒に解決する方法を考えます。大切なことは、「トラブルがあった時の解決方法を学ぶこと」です。まずは、大人と考えることで、次に同じことが起きた時、自分でどうしたらいいか考えるようになり、自分の中での解決方法を増やしていきます。

ボランティアが支える授業

授業中や休み時間、ボランティアが教室に入り、学習サポートをします。先生に声をかける勇気が出ない。そんな時、サポートしてもらうことで、授業に対する苦手感や緊張感を減らしていきます。また、「もっと深く学びたい」という人にも人生の先輩が応えてくれます。大学生から社会人まで幅広い年齢層の大人と出会い、生徒は安心して学校生活を送ることができます。



生徒支援のプロが常駐

カウンセラー・臨床心理士・公認心理師・養護教諭・特別支援教育士・特別支援教育士・スーパーバイザーが常駐しており、いつでも相談できます。全校生徒100名規模に対して、これらの専門家が常駐している学校はほとんどありません。また、生徒に関わる大人全員がカウンセリングマインドを持って対応しています。



複数担任制、学校全体で生徒を支援

担任は各学年2~3名ずつでサポートをしています。担任だけでなく、どのスタッフでも同じ目的をもった対応ができるよう、毎朝ミーティングを行い、常に生徒の情報を共有します。全てのスタッフが生徒全員のことを理解しているため、生徒が誰にでも相談できる環境が整っています。また、これらのスタッフとアドバイザーがチームとなり生徒を支援します。



Q どんな先生がいますか？

A ほんわかした先生や愛を持った厳しい先生がいます(笑)。



Q なぜ毎日通えるようになりましたか？

A 表コミは先生との距離が近くて自分を必要としてくれていると感じたからです。表コミが必要してくれるなら自分の居場所として毎日通おうと思いました。

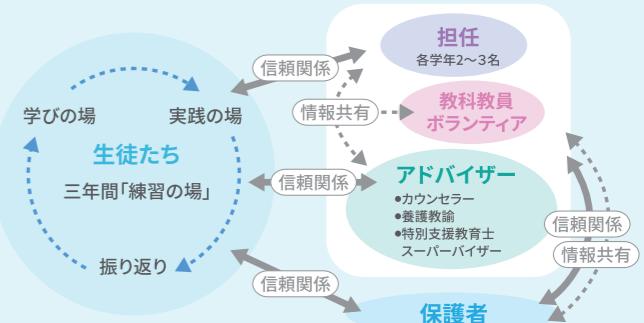


自信を蘇らせるスリーインワン・コンセプツ®

スリーインワン・コンセプツ®とは、ストレス軽減の方法で、脳神経学を応用して考えられたものです。たとえば、人前で本を読んで笑われた経験のある生徒は、人前で読むことを避けようとしています。それは、脳には過去に味わった、痛みや恐怖を避けようとする自然な機能があるからです。スリーインワン・コンセプツ®のシステムを使い、過去に味わったストレスを軽減すると、脳は過去の痛みにとらわれなくなり、生徒たちは苦手だったことに対して、楽に取り組むことができるようになります。その結果、苦手意識が解消され、自信を取り戻し、自己評価が以前よりも高くなっていきます。生徒たちは、専門家による個人セッションとして、年に数回受けることができます。

※「スリーインワン・コンセプツ®」について詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.3in1concepts.ne.jp>

授業と行事に参加するためのサポート体制



・各学年保護者会(年2回)・保護者面談(年2回)
・保護者交流会(年4回希望者のみ)

※授業や行事だけではなく、日々の高校生活において様々な場でこのサポート体制を整えています。

<生徒の1日のスケジュール>

※全日制のため時間割が決まっており、安心して過ごすことができます。

9:00	10:00	11:00	11:50	12:50	13:50	14:50	15:40
1限目	2限目	3限目	昼休み	4限目	5限目	6限目	放課後



あいさつから 1日がはじまります

1日のはじまりとして登校後、職員室であいさつをして教室に向かいます。



10時スタートが多いので 通勤ラッシュを避けられる

2限目からのスタートの日が多いので通勤ラッシュを避けて、ゆっくり登校。1日平均5時間の授業を受けます。

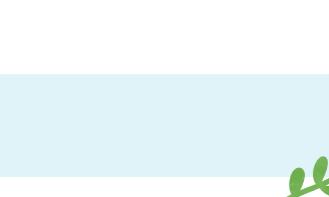


自分にとって居心地のいい場所での休憩

保健室やカウンセリングルーム、休憩部屋などがあり、自分に合った一番落ち着く場所で休憩することができます。

一日の最後にクラスで集まりホームルームを必ず行います。担任と顔を合わせない日はありません。

一番楽しい時間!



無理せず自分のペースで

授業中にしんどくなった時は「休憩カード」を提示することで休憩をすることができます。

放課後は生徒のことをよく知る教員と一緒に学習したり、気心の知れた友人とおしゃべりなど自分に合った過ごし方ができます。





さまざまな人と コミュニケーションをとることで 大きく成長していきます。

人との会話が苦手な生徒が、次第にコミュニケーションを取ることができるようになります。人や自分を大切にするようになります。自分の成長を実感できるのが表コミです。表コミでは、体験学習や学校行事を通じ、コミュニケーション能力や社会性の向上・生きる力を養います。



自分を認め、他者を認める仲間づくり

クラスという共同体の中で自分が認められていることを実感すれば、生徒はより大きく飛躍していきます。表コミでは、授業や学校行事を通じ、人と関わる中で「人を思いやる」「人と向き合う」「コミュニケーションをとる」ということを大切に考え、仲間づくりに力を入れています。仲間づくりを行う過程でトラブルが起きることもありますが、社会に出るためにステップとして共に乗り越えていくことで、新たな信頼関係を築くことができます。「生きる」「信じる」「思いやる」これらは体験でしか学べません。トラブルは、生徒が成長するチャンスです。



3年間を通じて、コミュニケーションを学ぶ授業・学校行事

表コミでは3年間かけてコミュニケーション力を育みます。例えば、入学前の2日間では、新入生と教員が集い、オリエンテーションを行います。初めて出会った人同士がリラックスするためのゲームや、自分のことを人に伝えるためのゲームなどを行います。これから一緒に過ごす仲間や教員を知ることにより、安心して学校生活がスタートできるようにサポートします。交流のないまま授業を急にスタートするのではなく、まずは互いのことを少しでも知り、スロースタートをすることで、安心して過ごすことができます。このように、すべての行事や授業を通して、スマールステップで他者との関わりに挑戦できるような仕組みを取り入れています。

	1年次	2年次	3年次
授業	人間関係トレーニング 総合学習 LHR SST	コミュニケーション 総合学習 LHR SST	コミュニケーション 総合学習 LHR マナー／ライフスキル
学校行事	4月：入学前新入生オリエンテーション 7月：阿南キャンプ（宿泊） 1月：六甲オーバーナイト（宿泊）	6月：紀泉宿泊研修（宿泊） 12月：演劇発表会（45分）	6月：広島平和学習（宿泊） 2月：六甲卒業合宿（宿泊） 3月：卒業公演（1時間半）
	全学年	5月：レクリエーション大会	11月：文化祭

LHR…ロングホームルーム
SST…ソーシャルスキルトレーニング
(1年生後期から2年生前期まで実施)

※記載のある授業、学校行事は1例です。
毎年、生徒のカラーやニーズに合わせてカリキュラム編成を行っています。

Q 表コミで得たことは何ですか？

A 笑顔を取り戻せたことです。転入する前は、自分の意見などをはっきり言えなかっただけで、表コミに来てくれるからは安心して自分の意見を言えるようになりました。



“自分”をなくさずに“人”とつながる方法を学ぶ体験学習



●人間関係トレーニング・コミュニケーション

毎週2時間、全学年必修で行う授業です。自分が思っていることを伝え、人とより良い関係を築くための練習を行います。相手を攻撃したり自分を卑下したりするのではなく、自分らしく相手と誠実に対等に向か合うことを学びます。はじめは自分を見つめ、次は1対1の形で「人の話を聞く」「自己を表現する」、そこからグループになって対人関係の築き方を学びます。さまざまな状況を設定しながら、お互いを気遣い助け合うことが自然に行われる授業です。内容が進むとラジオ番組を作ります。グループで創意工夫して1つのコーナーを作り、それを組み合わせることで1つの番組が完成します。



●演劇

2年生後期より行う授業です。人間関係トレーニングやコミュニケーションの授業で学んだことをもとに、プロの劇団員の指導を受けながら、公演へ向けて練習に取り組みます。卒業時には、約300人の観客の前で1時間半の大舞台を踏みます。仲間との信頼関係を築きながら、生徒たち自身で作りあげる舞台に、涙を流される観客も多く見られます。



●総合学習

スマートフォン・SNSの利用やトラブルの解決方法、またクラスメイト同士の言葉遣いや距離感など、具体的にクラスで起きうる様々な出来事について議論をして実生活に生かす授業を行っています。その他にも人権やマイノリティ、いじめ等についてクラス全体で考えていきます。ワークシートを使用してのブレインストーミングやグループ作っての意見交換、全体での発表など、それぞれの想いを共有する時間を持ちます。



●ソーシャルスキルトレーニング(SST)

実生活において必要な社会性や適切な対人関係、コミュニケーションスキル、自己管理などを学びます。言語聴覚士、臨床心理士、公認心理師、特別支援教育士スーパーバイザーの資格を持つ専門スタッフと教員がチームを組み、一人ひとりのニーズに合わせて、時間をかけてアプローチしていきます。生徒の希望に合わせ、休み時間や放課後の時間を使い、個別のSSTを行うこともあります。生徒が安心して集団で活動することができるようサポートをします。



●マナー・ライフスキル

社会で人と関わって生きるために必要な「型」を学びます。人間関係を構築していくベースになるもの、相手を大切にする姿勢を表す第一歩が「マナー・ライフスキル」です。挨拶の仕方や面接時の敬語の使い方、お茶の入れ方、テーブルマナーなど、社会で使う一般的な様式を授業で実際に練習していきます。表コミでは、誰もが気持ちよく生きるために、日常生活の中で必要なスキルとして「マナー・ライフスキル」を実践的に学んでいます。



学びの拡がり

「分かった」と感じた時こそ、 自主的な学びの始まり。



表コミでは、自分のために学習していく意欲を高める授業を行なっています。自分の学力を知り、集団の中でも自分に合った学びを積み上げていきます。

生徒の学習進歩度にも注目し、今何を学べば効果的かを的確に判断し指導していきます。その結果、多くの生徒が大学・短大・専門学校に進学しています。



自分のペースで学ぶ少人数制・習熟度別クラス

表コミは、1学年1クラスの少人数の学校です。学年全体で行う授業と習熟度別で受ける授業があります。習熟度別クラスでは、1学年2～3クラスに分け、より自分のペースに合った授業を受けることができます。また、3年生になるとペースだけでなく次の進路も考え、クラス分けを行います。1対1の個別授業ではなく、同じ目標を持つ生徒が一緒に学ぶクラスで授業を受けることで、生徒同士が支え合う関係の中で授業を展開しています。

数学は自分で決めて自分で学ぶ個別の「らくだ教材」を活用

らくだメソッド「らくだ教材」を使った学習(セルフラーニング)は「自分で決めたことを自分で実現していく」ことを可能にし、「最後までやり通す」力を持つ学習です。横に座っているクラスメイトとは進度は違いますが、お互いに応援し、支え合って授業を行います。

※「らくだメソッド」について詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.rakuda-method.com>

生命(いのち)のプログラム

「私たちの命は、神様から与えられたかけがえのない存在としての命」。表コミでは、このことを大切に性教育・平和学習プログラムに取り組んでいます。広島での被爆者体験談や現地の高校生との交流など、戦争という歴史的事実を通して学ぶ平和学習から、乳幼児と触れ合うことで感じる「いのち」の温かさを知る学習まで、幅広い生命(いのち)のプログラムを行っています。

教育課程(2019年度)

教科	普通科目(必修)										専門科目(必修)		選択科目								
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	宗教	総合	総合	情報	国語	社会	理科	体育	芸術	外国語	情報
科目	国現国語演文総習B合 日本史A	世界史A	現代社会	数学I	生物学基礎	科学と人間生活	保健体育	美術I	英語演習I コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語I 英語表現II	家庭基礎	社会情報演習 基盤知識	キリスト教 総合多文化社会と人間 学習時間	受験現代文力 モジユール学習 English Conversation	漢字検定 日本文化を知ろう	生物学 Yoga	芸術演習 CBA	芸術演習 CBA	受験英語 英語リスニング	情報情報 情報演習 CBA	情報情報 情報演習 CBA

生徒の個性を伸ばす選択科目

選択科目では、興味のあることにしっかりと取り組む姿勢が評価されます。好きなことや得意なことをより得意なものに。そして苦手なものにもチャレンジし、自信をつけていきます。



時間割例

週25時間、平均して1日5時間の時間割で授業を行なっています。学年によっては週4日は10時スタート、週1日は9時スタートです。これは、できるだけ満員電車を避けるためと、地元の同級生に会いたくないと思っている生徒への配慮です。

	9:00	10:00	11:00	11:50	12:50	13:50	14:50
月	1	2	3				
火			美術I				
水			国語総合 (古典)	コミュニケーション 英語I			
木			情報処理 (パソコン)	SST			
金			コミュニケーション 英語I	数学I			
			社会と情報 (パソコン)	人間関係トレーニング (コミュニケーション)			
					現代文B	情報 芸術	生命と科学 国語表現力
						宗教	
						LHR	
						総合学習	
						現代社会	
						情報処理 (パソコン)	
						卒業後も 役立つ力	

※国語・英語・情報は、習熟度別クラスです。また黄色□は、選択科目で自由に選択ができます。※昼休みは、体育館やパソコンルームが使用できます。

●英語科目

少人数で行い、習熟度によって中学校までの内容を丁寧にやり直すことから始めます。英語嫌いだった人もフォニックスで単語の読み方を学んだり、英語のゲームをしたりと授業を楽しんでいます。もちろん英語での大学受験にも対応できます。

●国語科目

読解力はもちろん、文章や言葉での表現力を養うことに力を入れています。自分の思いや考えを言葉や文章で表現することに抵抗を感じていた生徒たちが、卒業時には自分の歩んできた道のりをふりかえる小論文を書き上げます。

●情報科目

ワードやエクセルといった基本ソフトの習得から、パワーポイント・イラストレーター・フォトショップまで、幅広く使いこなせる技能を身につけます。3年生では今まで授業で身につけたスキルを使い、プレゼンテーションに挑戦します。

●芸術科目

ただ絵を描く・ものを作るだけなく、芸術科目を通じて自分を自由に表現することで生徒の心は解放され、新たな自分を発見していきます。必修の美術とは別に、週4時間芸術を選択することができます。全て違う先生の授業(2時間続き)です。



Q 授業はどんな雰囲気ですか?

A 生徒のことを全員の先生が本当に大事に思ってくれていることが伝わってきて、生徒にとってとても安心な授業です。



自分に自信を持つことから 自立が始まります！

表コミニ入学した当初は、自己肯定感が低かった生徒たちも、安心できる環境と関係性で自信を回復し、心が安定すると、将来の夢を語り始めます。そのための進路を自ら考え、自分で進路を決めることを表コミニは応援しています。



より具体的なイメージを持つ進路指導

学年	進路選択段階	活動内容
1年 調査の年	じぶん自身のことをよく知り、どのような進路・職業があるかを知る	<ul style="list-style-type: none"> 学習方法・学習習慣の獲得 授業「産業社会と人間」「現代社会」 基礎学力試験実施
2年 行動の年	目標を決める 学習習慣やソーシャルスキルを身につける	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・生徒への進路説明会 進路に関する保護者・生徒面談 大学・短大・専門学校・職業訓練校のオープンキャンパスへの参加 ゲストティーチャーによる授業 生徒への進路別説明会 進学自習ルーム開始 基礎学力試験実施 進研マーク模試実施（進学希望者のみ） インターンシップ（職場体験） 職業インタビュー
3年 決定の年	進路を具体的に決め実現する	<ul style="list-style-type: none"> 授業「マナー」 進路別選択授業開始 職業観育成授業開始 進路に関する保護者・生徒面談 <p>【進学希望者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学自習ルームでの継続的な学習 進研マーク模試実施 <p>【就職希望者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業訓練校見学・体験 インターンシップ（職場体験） 職業訓練校受験対策講座

社会を知る授業

身の回りにある物事や出来事と自分たちとの関わりを考える「産業社会と人間」「現代社会」など、社会との繋がりを見つけ、それについての自分の考えを深める授業を多く実施しています。

「自分で」学習する力を養う

大学や短大・専門学校に進学を希望する生徒には、2年生より定期的に進路面談を行い、進学自習ルームにて学習チェックを行いながら受験勉強に励みます。学習面・心身面ともに生徒のことをよく知る教員が一緒に受験勉強をすることで、生徒との信頼関係を築きながら次の進路に向けて準備を行います。特に文系を目指す生徒は塾に通うことなく大学進学を目指すことができます。※理系を目指す生徒の一部は塾へ通いながら受験勉強をしています。

自ら考え、調べ、発表するプレゼンテーション大会

何を調べるか、テーマから自分で考えリサーチを深め、決められた時間内に発表するプレゼンテーション大会を行っています。数分の発表のために何時間もかけて自分の考えや思いを練っていくプロセスや、その苦労と達成感も自立への歩みになっていきます。



- Q 表コミニ入学して良かったですか？
A はい、とても良かったです。
- Q どんなところが良かったですか？
A 人にピクピクしなくなったりです。

卒業後の進路（2007～2019年度）



進学校一覧です

大阪経済大学／大阪芸術大学／大阪国際大学／大阪産業大学／大谷大学
追手門学院大学／大手前大学／関西外国语大学／関西学院大学／京都外国语大学
京都産業大学／京都精華大学／京都芸術大学／近畿大学／神戸女学院大学
甲南女子大学／摂南大学／相愛大学／佛教大学／奈良大学／桃山学院教育大学
武庫川女子大学／桃山学院大学／龍谷大学 他（2007～2019年度実績より抜粋）
その他としては、浪人、就労支援センターなどがあります。

卒業生のメッセージ



北山 輝
2期生
(2008年度卒)

ECCコンピュータ専門学校 卒業
大津コンピュータ株式会社 就職



森上 載斗
8期生
(2014年度卒)

揖斐川町職業能力開発センター
株式会社 西日本あいのわ就職



岩坂 礼
10期生
(2016年度卒)

聖和短期大学
保育科

僕が表コミニに入ってるものは
「心から大切に思える仲間」

長い間不登校でコミュニケーションへの苦手意識があり、自分から壁を作つて深く関わろうとしない僕が、学校という場所でやつていただけるのかとにかく不安でした。しかし表コミニでは、自分と同じ境遇の人も多く、同じ悩みを共有できたことが安心につながり、自分の意見を素直に伝える事ができるようになりました。表コミニという特別な場所で得た仲間、自信と経験を活かし自分の力を築いた専門学校での仲間とは、今でも交流が続いています。不登校時代からは想像もつきませんが、今では社会の一員として社会に貢献できるように仕事・勉学に励んでいます。

小学校高学年から不登校になり、自分を変えたいと思い表コミニに入りました。当初は「また裏切られるのではないか？」と人を疑つぱかりでしたが、仲間が僕を人間として見てくれ、何度も助けてくれ、大切な事を教えてくれたおかげで、人を信じて良いのかもしれないと思えるようになりました。「最悪だった過去があるから今の自分がいる」と気づき、自分を少し認められるようになりました。

職業訓練校を経て、今春から念願の社会になります。今の目標は、僕を大切してくれた仲間に少しでも何かを返す事、周りの人が苦しんでいたら助けられるような人になる事です。

勉強は、ずっとやる意味も無いと思っていたし、やる気もなかったけれど、表コミニの先生はテストだから勉強しなさいとか、なんできないの？と言わなかったので、自分で進んでやりたいと思つたし、授業も寝ずに受けようと思つました。先生=壁があるというイメージだったけれど生徒とここまで打ちとけられるなんてすごいと思いました。先生たちのイメージが変わりました。

表コミニ生活は楽しいことばかりではなくたくさん苦労したけれど、私は表コミニで「色々な人がいて、私は私でいいんだ」、「マイペースに歩いてても大丈夫なんだ」ということに気づきました。表コミニがあってよかった。今強くそう思います。

みんなで学ぶ年間行事!

全ての行事において、人と関わることで自分や他者の新たな可能性を発見することができます。
「できないから参加しない」ではなく「参加するために何ができるか」を生徒とスタッフが一丸となり考えていく、
それが表コミの魅力です。



年間スケジュール *

<前 期>

4月

- 新入生オリエンテーション
- 入学礼拝／始業式
- 前期開始

5月

- レクリエーション大会
スポーツが得意な人も苦手な人も学年を越えてみんなで楽しむことができるレクリエーション大会です。

6月

- 中間試験
- 紀泉宿泊研修(2年生)★宿泊
里山の暮らしを体験し、それを通した仲間作りの活動を行います。
- 修学旅行／広島平和学習(3年生)★宿泊
平和、生命の尊さを、平和記念資料館の見学や被爆者の体験談から学びます。

7月

- 阿南キャンプ(1年生)★宿泊
学校生活では経験できない海洋スポーツを楽しみ、クラスメイトやスタッフとの絆を深めます。

8月

- 前期期末試験
- 前期終了

9月

- 夏休み・登校日
夏休み期間中も週に一度登校し、特別ゲストを招いた講座やお茶会などを体験します。
※希望者にはニュージーランド、香港、ハワイなど海外研修もあります。

10月

- 後期開始
- チャリティーラン(希望者のみ)
障害のある子どもたちを支援する、全国YMCAチャリティーマラソン大会です。

11月

- 文化祭
生徒たちは紙芝居、射的、クレープ店など自分で考えた模擬店を出店しています。

12月

- 中間試験
- クリスマス礼拝(大阪教会)
- 演劇発表会(2年生)

1月

- 六甲オーバーナイト(1年生)★宿泊
1年の歩みをふりかえり、学校とは違う環境の中で、語り合います。

2月

- 後期期末試験
- 六甲卒業合宿(3年生)★宿泊
互いの成長を分かち合い、卒業公演に向けて団結力を高めます。
- 卒業文集発表会(3年生)

3月

- 卒業公演(3年生)
約300人の観客の前で、全員で作り上げる表コミ生活の大成です。
- 卒業礼拝/終業式
- 職業体験(2年生)

ボランティア活動!

教えて表コミ! Q&A

Q 制服はありますか?

A 標準服はあります。

標準服とは、着るか着ないか自分で選択できる制服のことです。毎日洋服選びに悩んでいた生徒の提案からできました。購入するしないも自由です。



Q オシャレに制限はありますか?

A ありません。

自由に自分を表現してほしいと願っています。ただ、クラスメイトから違和感の声があがった時は自分たちでルールを決めます。

YMCAの施設

本校舎には体育館やホール、チャペルなどがあり、授業や行事で使用しています。また、YMCA阿南国際海洋センターや、六甲山YMCAなどの校外の施設も活用し、行事やキャンプを行っています。



●7Fパソコンルーム



●B2F体育館



●2Fホール
●1FYMCAとさぼり保育園
●5F図書室
●10Fチャペル